

令和6年第3回定例会一般質問通告事項

	岡村 隆 議員 (公 明 党)	質問方式:一問一答方式
9 月 6	<p>1 巨大地震「注意」への対応等 「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」は自治体において、「自分たちが事前の備えに十分取り組んでいるのか」を見つめ直す機会にすべき、とされている。そこで今回、これまで私が一般質問等で指摘してきた内容について、どのように見直されたかについて質問する</p> <p>(1) 市立の学校に備蓄品がない。どうやって児童、生徒、教職員のいのちを守るのか。見直しはしたのか</p> <p>(2) 市立の学校に防災ヘルメットもしくは防災頭巾が一切ない。頭部は最も守るべきではないか。なぜ整備しないのか。かつて久保、長江、土堂の3小学校に整備された防災ヘルメットが現在は旧校舎に放置されている。せっかく整備したのに、なぜ活用方法を考えないのか</p> <p>(3) 備蓄品について、拠点としての防災倉庫から災害時に各避難所に運ぶ、とのことだが、道路が寸断された場合を想定して、各避難所の備蓄品をもっと充実するべきではないか</p> <p>(4) その他、今回の「巨大地震注意」の発表を受けて、本市はどのような具体的な、見直し、対応等をしたのか</p> <p>(5) 市民病院の移転候補地が「津波浸水想定区域」及び「液状化危険区域」となっており、移転を危惧する声が多く上がっている。安全性について市民が安心できる客観的なデータが必要ではないか</p>	
日	<p>2 外国人との円滑なコミュニケーション</p> <p>(1) 尾道市に住む、ここ数年の外国人の人数の推移はどうか</p> <p>(2) これまで、外国人と地域住民との間で生じている課題について、どのような相談が寄せられ、どのように対応したか</p> <p>(3) 言語の問題もあり、コミュニケーションがとれない、という要素が大きいと思うがハードルが高い。住民としてはどうしたらいいか</p> <p>(4) 人口減少、高齢化が加速する中、今や町内会活動が成り立っていない状況が散見され始めた。せめてハードルの高い外国人との間の課題については、市の方でしっかり相談を受け止めて、寄り添った対応ができないか</p>	

<p>9 月 6 日</p>	<p>3 空き家対策</p> <p>(1) 尾道市における空き家の現状はいかがか。またここに至った原因については、どのように分析しているか</p> <p>(2) 上限を 60 万円として除去費用の一部を補助する制度があるが「60 万円の補助だけでは到底無理」との声も聞かれる。現在の補助金額についてどう思うか</p> <p>(3) 空き家を取り壊すと、土地の固定資産税が上がる可能性がある。固定資産税の増加分を減免を検討してはどうか</p> <p>(4) 自治体によっては「空き家対策の総合相談窓口」を設け、広く相談に対応している。本市における取組はいかがか</p> <p>(5) 「空き家がイノシシの温床」との指摘もある。イノシシ対策は「農林水産課」、空き家対策は「まちづくり推進課」といった縦割りではなく、相互に共通の目的に向かって協力して対策を検討していることはあるか</p> <p>4 地域公共交通計画</p> <p>学生議会で私が担当したテーマに関連して質問する。瀬戸田高校から尾道方面へ帰るバスの増便について</p> <p>(1) 広島県の「広域生活交通路線確保維持費補助金」はどういった内容か。また今回の要望について、この補助金は対象となるか。そしてその活用も視野に入れながらの増便の検討は可能か</p> <p>(2) 今回のようにニーズが明確になっている場合、ヒアリングにより要望の内容をしっかりと把握する営みを、柔軟に実施して頂けるか</p>
----------------------------	--